平成29年度第2回石狩市特別職報酬等審議会会議録

- 開催日時：平成30年2月8日（木曜日） 午後3時00分～
- 開催場所：第2委員会室
- 出席者（7名）：酒井敏一委員、三津橋昌博委員、金子康幸委員、松原愛子委員、高田芙美子委員、菊地ひろ子委員、田畑博委員
- 欠席者：なし
- 傍聴者数：4人
- 事務局：及川総務部長、森本行政管理課長、宇野職員担当主査

【事務局：森本課長】

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

はじめに、本日、委員全員が出席されておりますことから、石狩市特別職審議会条例（以下「審議会条例」）第5条の規定に基づきまして、本委員が成立しますことを報告いたします。

ただいまから、平成29年度の第2回石狩市特別職報酬等審議会を開催いたします。

本日は、委員改選後、初めての審議会でありますので、会長が選出されるまで、進行を取り進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

始めに委嘱状の交付ですが、ご案内のとおり平成30年2月3日付けでみなさまには委嘱をしております。大変失礼かと存じますが、委嘱状につきましてはみなさまのお席にございますので、これをもって委嘱状の交

付とさせていただきます。

本日の審議に先立ちまして、今回の改選にて、団体推薦でありますNPO法人石狩市文化協会から金子委員が、また新たに石狩ボランティア連絡協議会から松原委員が選任されていますことから、まず、委員の皆様からお名前だけでよろしいので、それぞれ自己紹介をお願いするとともに、事務局の紹介もさせていただきますと存じます。

— 委員自己紹介 —

— 続いて事務局の紹介 —

【事務局：森本課長】

それでは、はじめに、会長の選出をお願いしたいと思います。会長の選出につきましては、審議会条例第4条の規定に基づきまして、委員の互選により選任するとされておりますので、どなたかご意見がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。いかがいたしましょうか。

【三津橋委員】

事務局に一任します。

【事務局：森本課長】

ただいま、三津橋委員より事務局一任というご発言がありましたが、そのように進めることでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、事務局といたしましては、前期にも会長を歴任し、経験のある石狩市連合町内会連絡協議会会長の酒井委員に会長をお願いしたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

【委員一同】

(拍手あり)

【事務局：森本課長】

ありがとうございます。委員の皆さんからご了承をいただきましたので、酒井委員に会長をお願いしたいと思います。酒井会長、よろしく申し上げます。

— 会長席へ移動 —

【事務局：森本課長】

会長より、一言ご挨拶を頂戴いただけますでしょうか。

【酒井会長】

前回に引き続き会長を務めます。本審議会を円滑に運営するため委員のみなさんのご協力をお願いします。

【事務局：森本課長】

ありがとうございます。それでは会長が選出されましたので、引き続き、酒井会長より職務代理者を指定していただきます。

【酒井会長】

三津橋委員にお願い致します。よろしいでしょうか。

【三津橋委員】

（お引き受けいたします。）

【事務局：森本課長】

ありがとうございます。よろしく願いいたします。

それでは、審議会条例第2条の規定に基づきまして、市長から諮問を行いたいと存じます。

それでは、市長からあいさつを申し上げ、その後会長に諮問書をお渡しいたします。市長よろしく願いします。

【市長】

みなさん、こんにちは。それぞれの委員に報酬審議会の委嘱状を交付させていただきました。どうぞ2年間よろしく願いいたします。

本審議会は、特別職の報酬という非常にナーバスな問題を扱う審議会となっております。特別職の報酬というのは世相の実態を踏まえるとどうなのかといった市民の関心も高いことから、私たちも慎重の上に慎重を重ねて提案をしまいたいと思います。

この度の議員報酬の月額改定についてですが、社会の変化の中で二元代表制を維持するための問題であります。昨今石狩管内の議会選挙においても立候補者が定員と同数となり選挙が行われないう状況など、様々な問題が起きております。世の中では報酬は低い方が何か正義のような雰囲気もありますが、議会の役割について民主主義を貫く日本の国の考え方からしますと、議

会が弱まるということ、また議会の機能が失われつつあるという昨今の風潮について、非常に危機感を感じているところでございます。こうした状況を踏まえて提案をしたいと思っておりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

— 諮問書を朗読し、会長に提出 —

【市長】

ただいま、会長に諮問書を提出しました。この件についてもう少し説明させていただきたいと存じます。

一つは平成12年10月から議員の報酬月額は変わっておりません。その間市では財政非常事態宣言がなされ、これら一連の財政改革の中で議会におかれても定数を削減するなど、様々な改革に取り組んで来られました。その後除々に財政健全化の道を歩んで行く中で、昨今の景気動向や人事院勧告なども踏まえて、市長の給料については平成27年に私が市長になって初めて正規の給与をいただいております。一方でこの間において議員の報酬については中々改定の議論がなされなかったことについて、私どもの問題でもあったかと思っております。

前回の市議会選挙の立候補者は定員に2名多いという状況でした。それから現在の議員の平均年齢は61.9歳で、40代が1名、最高齢は75歳となっております。

ります。こうした状況を見てみますと、働き手が選挙に出馬しづらい、また議員になりづらい環境となっていると思います。

もう一つは、議員として拘束される日数です。年間で約90日から100日ありますので、これは3日に1日となると職業が限定されますし、現在の報酬で生活をしていくのは極めて困難であることを踏まえ、若い人やサラリーマンが出馬しやすい環境をつくることが大事でありますことから、報酬についてはせめて石狩管内の水準にしなければならないという思いで今回提案させていただきました。みなさんのご意見がまとまり次第、第1回の定例会に提案したいと思っておりますので、ぜひ慎重なご審議をいたされれば大変ありがたいと存じます。それではよろしくお願いいたします。

【事務局：森本課長】

このあと、市長は公務のため退席させていただきます。

— 市長退席 —

【事務局：森本課長】

ここで、会長に手渡しました諮問書の写しを配布させていただきます。

— 諮問書（写）配布 —

【事務局：森本課長】

このあと、市長につきましては、公務がございますので、ここで退席させていただきます。

【事務局：森本課長】

ここで、委員皆様方に、会長に手渡しました諮問書の写しを配布させていただきます。

— 諮問書（写）配布 —

【事務局：森本課長】

それでは、この後の進行につきましては、酒井会長にお願いしたいと存じます。

【酒井会長】

さっそく、会議次第に従いまして、取り進めて参ります。

次第の7の「審議」に入ります。

本日、資料が配布されておりますので、内容について事務局に説明を求めます。

なお、諮問事項につきましては、本日結審をしてすぐさま市長に答申したいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

それでは事務局、よろしくお願い致します。

【事務局：森本課長】

それでは、資料のご説明をさせていただきます。

この資料は、北海道35市の、市長・副市長・議長・副議長及び議員の平

成29年4月1日現在の給料月額及び報酬月額を示しております。

石狩市の現状は、黄色で示しておりますが、市長が92万円、副市長が73万5千円、議長が43万9千円、副議長が38万3千円、議員が33万6千円で、その下の欄には、支給が多い市の順位を示しており、市長・副市長は13位、議長は16位、副議長が17位、議員が18位となっております。

ちなみに、石狩市の人口数を見ますと、全道35市中、多い順番から14位となっております。

一番下の欄には、「全道35市の平均額」、その下の欄には、「本市を除く館内4市の平均額」をそれぞれ示しております。

北海道内の他市の状況を見ますと、議長・副議長・議員の報酬月額は、全道平均額より下回っており、前回の見直しが平成12年10月と、相当期間経過しており。次期一般選挙で選出される議員から、石狩管内4市（江別市・千歳市・恵庭市・北広島市）の平均額まで引き上げようと考えており、今回の諮問のとおりで提案させていただきました。

なお、この改定の適用日ですが、次回の選挙において選出された議員の報酬から適用されるものでございます。

説明は以上となります。

【酒井会長】

ただいま事務局から諮問の内容・背景についてご説明いただきました。

内容について何か質問、ご意見等があればお受けいたします。

【田畑委員】

特別職の報酬額は財政事情を勘案しながら決めていくものと考えているが、この改定により年総額でどの程度増額となるのか。

【事務局：森本課長】

試算では年額で約11,000千円増額になると試算しています。なお、この額には、月額報酬の他に年2回の期末手当が含まれております。

【金子委員】

議員の活動日数を踏まえると改定額は妥当だと考える。議員の活発な活動につながるものと期待している。

【三津橋委員】

基本的には賛成の立場である。議員定数の問題とも関係するが、これに関しては現在議会で議論していると聞いている。

【田畑委員】

報酬額の改定については、財政事情を勘案するものであることが前提だが、特別職にある方は市政運営において重責を担っており、リーダーシップを発

揮してもらうためには相当の報酬は必要だと考える。今回の改訂については、財政事情について問題ないということであるので、提案の改定の方でよいと考えます。

【事務局：及川部長】

今回の改訂が適用される次回の選挙は平成31年度であり、その時点の財政状況を現段階で見通すことは難しいですが、財政担当と協議を経た上での提案でありますことをご理解ください。

【松原委員】

私もさまざまな活動の場に出させてもらっているが、議員にもこうした活動を見ていただいている。市民にとっても励みとなっているので、議員活動を支える意味で今回の改訂はよいことだと思います。

【酒井会長】

以上で、質疑の方はよろしいでしょうか。委員のご意見としては大筋で賛成ということだと思います。

私としては、この諮問について改正の目的や報酬額の妥当性なども鑑みて、改定額を尊重したいと考えますがいかがでしょうか。

(はい、賛成の声あり)

【酒井会長】

ありがとうございます。それでは皆さんに賛同いただきましたので、諮問の内容のとおりに進めていただくよう答申したいと思いますがご異議ございませんでしょうか。

【委員一同】

異議なし、の声あり

【酒井会長】

ありがとうございます。これより正式な答申書を作成したいと思います。答申する内容を事務局に説明して、答申案（案）の作成をさせますので、少しお待ちください。

（休憩）

【酒井会長】

審議を再開します。事務局から作成した答申案を一読していただきます。

—事務局 森本課長 答申案読み上げ —

【酒井会長】

この内容でよろしいですか。

【委員一同】

よろしいです。

【酒井会長】

それでは、市長に答申を渡すこととします。

- － 市長 入室 －
- － 市長に答申書手渡し －

【酒井会長】

これで、本日の審議を終了いたします。ご苦労様でした。

(散会)

上記のとおり議事録として確認しました。

平成30年 3月 5日

石狩市特別職報酬等審議会

職務代理者 三津橋 昌博